

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立簾舞小学校 3・4学年 59名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	札幌オリンピックのことや、リュージュやスケート競技での選手の努力、苦労について、オリンピックの話を聞いたり、興味をもったことやオリンピックの精神をさらに調べたりする活動を通し、学ばせていく。 また、実際にリュージュやスケートを体験することで、これらの競技の楽しさを味わわせるとともに、スポーツをすることへの意欲の向上、心身の成長を図り生涯スポーツに資する取組とする。
5 取組内容	〔総合的な学習の時間〕 15 時間扱い ① リュージュ（3 年 藤野リュージュ競技場）、スケート（4 年 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ）の体験学習。（4 時間）   ② オリンピアン講話・交流。（1 時間） ③ 平昌オリンピックの簾舞出身選手について知る。 ④ 冬季オリンピックや冬のスポーツ競技について、パソコンや記録DVDを利用して調べ学習を行う。（9 時間）

○学習の様子

【3年生】

① リュージュの体験学習。

藤野リュージュ競技場にて、札幌リュージュ連盟の方々に御指導を受けリュージュの体験学習を行った。元リュージュ選手の竹田さんにリュージュの運び方や乗り方を教わり、札幌オリンピックでも入賞されていた小林さん(旧姓大高さん)にも、乗り方やリュージュの背負い方を教わり、楽しく活動した。



② リュージュ選手を学校に招き、競技やオリンピックについて話を聞き、交流。

体験学習に続き、元リュージュ選手の竹田さんを学校へお招きし、競技の詳しい説明や競技場維持に大変さ等についてお話を伺った。また、子どもたちが疑問に感じたことを竹田さんに質問するなど意欲的に交流していた。

③ 関心をもったことについての調べ学習。

自分が興味・関心をもったことを、パソコンや記録DVD等を活用し、調べ学習を行い、新聞にまとめて発表した。



【3年生の新聞】

【4年生】

① スケートの体験学習。(オリンピックによる実技指導と交流活動)

真駒内セキスイハイムアイスアリーナにて、元オリンピック選手の土井植梧さんを講師にお招きし、スケートの体験学習を行った。初心者がほとんどであったため、靴の履き方、歩き方から丁寧に指導していただいた。2時間ほどの体験であったが、全員が滑走できるようになり、子どもたちは皆、目を輝かせて意欲的に活動に取り組んだ。

② 関心をもったことについての調べ学習。

自分が興味・関心をもったことを、パソコンや記録DVD等を活用し、調べ学習を行い、レポートにまとめ発表した。

<児童の感想から>

スケート学習に行って、最初はなれていなくて、転んでばかりだったけど、時間がたつとともに、氷になれて、最後には友達と楽しく滑ることができました。楽しかったけれど、家に帰ったら足がすごくいたくなりました。でも、また、行きたいです。

今日はスケート学習でした。後ろに転びそうになったら、ひざに手をあてるところばないということがわかったし、スケートぐつをちょっと外側に向けてするとすむということを土井さんに教えてもらった。だから、今日は楽しくできました。今度は、家族とスケートに行きたいです。あと、オリンピックも見たいです。



6 主な成果

1972年に札幌でオリンピックが開催され、学校から近い藤野リュージュ競技場で競技が行われたことや、真駒内には当時競技場やオリンピック村があったことは、子どもたちにはあまり実感がなかった。また、リュージュやスケートについても、初めて体験する子がほとんどであった。しかし、リュージュ連盟の方々やオリンピックの方の丁寧な指導により、子どもたちの当スポーツへの関心がたいへん高まった。また、実際に話を聞くことで、輝かしい活躍の部分だけではなく、そこに至るまでの多くの苦労や努力にも気付くことができた。さらに、札幌オリンピックやスポーツ競技についての調べ学習では、実際に競技を体験したことやオリンピックの話を聞いたことで学習意欲が向上し、子どもたちは自分が興味・関心をもったことを進んで調べ、学習に取り組んだ。また、昨年購入した札幌オリンピックの記録DVDも効果的に利用できた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	本校OBのオリンピックを招き、体験的な学習を通してオリパラ教育の目的に迫ったこと。
8主な課題等	昨年から取り組んでいるリ्यूージュやスケートの体験学習では、競技自体を知らない子が多く、スケート学習では靴の履き方を知らない子がほとんどであった。平昌オリンピックの開催により、競技の認知度は高まってきているが、今後も学校として継続して取り組むことにより、スポーツに対する理解や意欲がさらに高まると考える。 また、子どもたちが調べ学習を進めていく上で、図書室の本やDVD等の資料を充実させて活用できるようにすることが、今後の課題と捉えている。
9来年度以降の実施予定	経費の問題がクリアできれば、十分持続可能な取組として教育課程に位置付けていきたい。